2019年1月14（月）

差枚	-約3800枚	RANK	C

実戦機種

盗忍！剛衛門、パチスロ北斗の拳 新伝説創造、
戦国コレクション3、スーパーリノXX　ほか

実戦レポート

前回（11/24）、まさかの「アナザーゴッドハーデス」が全台絶好調だったホールなので、その影響もあってか開店直前には50人弱の並びが。まどマギシリーズ、ノーマルタイプ、バラエティの人気機種などが埋まる中、ここ数回ほど挙動の良かった「盗忍！剛衛門」を確保しての実戦開始となった。

しかし、2台設置の剛衛門をどちらも触り、「どちらも違うな」と決断を下すのに、さして時間はかからなかった。店内の人気機種は未だ絶賛稼動中だし、何なら開店後に増えたお客さんによって、その他の準新台や3台以上設置機種も稼動が高まっている。

こうなると、前回から何人かのユーザーから話を聞いていた「特定末尾の高設定傾向」が気になってくる。既にバラエティコーナーや各AT・ART機から見えている好調台を頼りに、その末尾で空いている台を探すと…「パチスロ北斗の拳 新伝説創造」くらいか？

ということで打ち出したのだが、こちらも小役確率やモード移行をはじめとする各種設定推測要素が一向に上向いてこないまま、激闘乱舞のスルー回数天井に引っ張られて負債だけは上乗せ成功。そしてこの時点で、移動先の候補が見つかっていないときたもんだ。辛ぇ！

以降は、前任者が諦めたメイン機種の不調台を「まだ分からん！」とこじつけて攻めてみたり、全く稼動していない未開の地を「ここに埋もれているかも！」と夢いっぱいに打ち始めたり、前向きかつ苦しい戦いが続く。

そうこうしているうちに時間と投資だけは進み、「全台が絶好調のシマ」「特定末尾の高設定傾向」ともに全く断定できないまま、最後は一縷の望みで「スーパーリノXX」へと移動し、トマトより確率が悪いはずのコインを5回も引いたクセに、肝心のトマトは1回も引けずフィニッシュ。

お世辞にも「高設定っぽい一瞬はあったのにな」とすら言えないほどの、企画史上ダントツで最低なC級獲得となったのでした。

前述のように、「高設定らしき台が全く無かった…というワケではない」のも、情けなさに拍車をかけている。2019年一発目の実戦は厳しすぎるスタートになっちまったぜ…。